

「愛犬と一緒に散歩講座」を行いました

6月21日(日)、「愛犬と一緒に散歩講座」を行いました。

札幌市が主催する「リードをつないで楽しく散歩キャンペーン」の一環として行われたもので、30名を超す人と10頭以上の犬たちにご参加いただきました。

当日はまず、愛犬を落ち着いてお座りさせるテクニックを訓練士の先生から教わりました。

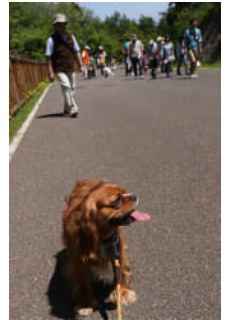
愛犬に対して、飼い主の背中側を右から左に歩かせ、左足のそばに来たところでリードを垂直方向に引き上げると犬は自然とお座りする、しない場合は「お座り」と一声だけかけて背中や腰を軽く押すもので、ほとんどのわんちゃんがうまくできました。

続いて公園内の散歩、レストハウス横からピクニックテラスまでを往復しました。

しかし夏日で犬にはとても暑く、歩く距離を短めにして早く切り上げました。

最後にもう一度マナーの大切さを確認して終わりました。

参加されたみなさま、犬たち、お疲れ様でした。



「GPS 樹木調査」第2回目の様子と第3回目のご案内 7/26

6月28日(日)「GPSで旭山の木の地図を作ろう」、第2回目が行われました。

今回は「ウメガサソウを探そう!」をテーマに、園内で唯一ウメガサソウが確認されている場所を含む、公園の南側を調査範囲としました。

ウメガサソウ、咲いていました。

例年7月上旬に咲きますが、今年は他の花同様少し早く開きました。新たに設けられた森の中の道が、植物を見るには面白い場所でした。大きなミズナラを見てマイタケが出てこないかなあと話したり、ドロノキ旧道の名残の石垣が大規模に残っていることに驚いたり、樹木以外でも、旭山のことをよく知るきっかけになった1日でした。

■次回は7月26日(日)、「森の中は涼しい」をテーマに、

暑い夏の盛りに体力消耗を防ぐべく、「森の家」に近い森の中のエリアを調査します。

調査といっても難しいものではありません、植物観察会の感覚でお気軽にご参加ください。

●2015年7月26日(日) 9時半「森の家」集合 14時頃まで

参加費:1人100円(保険代として) 小雨決行

※当日は昼を挟むので昼食のご用意をお願いします。 ※1回だけのご参加もちろん大歓迎です。



カルチャーナイト「街とチョウの超イイ関係」のご案内 7/17

夏の1日、公共施設や企業などを一般開放する「カルチャーナイト」、今年で10年目を迎えます。

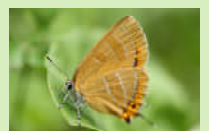
旭山も今年で3回目となりますが、今年は「街とチョウの超イイ関係」を行います。

前半は公園内でゼフィルスを中心とした蝶の観察、後半は「森の家」での講演とフリートークです。

講師は、「Faura」への記事執筆などでご活躍の自然環境アドバイザー、長谷川雅広さん。

蝶の観察を通して、市街地に近い公園の植生を知り、公園という場所における

生物多様性に配慮した植生管理について考えてゆきます。



●「街とチョウの超イイ関係」2015年7月17日(金) 17時~20時 旭山記念公園「森の家」及び公園内

参加費:ひとり100円(保険代) 定員:20名 雨天決行 事前申し込み要 ※後半だけの参加も可

犯人はクマゲラだった！

最近、旭山記念公園内で、木製のベンチが「壊される」事態が発生しましたが、犯人を突き止めました。クマゲラ。

設置されて数年が経ち、クマゲラが好物の蟻が中にすくった模様。ベンチをつついて、その蟻を食べている様子をカメラが捉えました。もちろん、壊したからといって、クマゲラでは仕方ないですね。6月以降、「森の家」の近くにクマゲラがよく現れています。しかし、この時期に自由に動き回っているということは、どうやら繁殖をしなかった模様です。来年は繁殖成功するといいいのですが。



6月の「早朝野鳥観察会」の様子 アオバトが見られた！

5月より毎月行っている「早朝野鳥観察会」、6月のテーマは「アオバトを見てみよう！」でした。当日は曇り空、何度かアオバトの声は聞こえましたが、上空を横切る姿が一瞬見えただけ。諦めかけて「森の家」で「鳥合わせ」をしていたところ、すぐ近くからアオバトの声が！

全員で外に出ると、エゾヤマザクラの木にとまり実を食べるアオバトを近くでじっくりと観察できました。

最後まで諦めてはいけない、と学びました。

当日は他に、林の中の遠くにいるクロツグミを見つけたり、キビタキの鳴き声を追って木の中を探すと観察できたということが2度3度とあり、目視できる機会は少なかったものの、充実した観察会となりました。

7月の「早朝野鳥観察会」は「幼鳥を見てみよう！」をテーマに行います。

参加ご希望の方は「森の家」までお申し込みください。

●「早朝野鳥観察会」 2015年7月4日(土) 6:15～8時半頃まで
参加費 100円(保険代として)



シジュウカラ幼鳥→

6月の旭山にはこんな鳥が

- ・ハリオアマツバメ 6月13日、上空を数羽の群れで飛んでいました
- ・オオムシクイ 声を聞いたのは6月15日が最後でした
- ・エゾセンニュウ 6月11日園内で声を聞きました。エゾセンニュウは草原性の鳥で旭山では繁殖はしませんが、毎年なぜか6月に1日か2日だけ声を聞くことがあります。
- ・キビタキ 公園内で数個体の雄が鳴き合っていて、ここは個体数が多いように感じます。
- ・アオバト 桜の実を食べに「森の家」の近くに一時毎日来ていた他、声はよく聞かれました。
- ・アカハラ 旭山は例年春先に来て夏にはいなくなりますが、今年は6月以降、時々囀りが聞かれます。

編集 後記

北海道に梅雨はないといわれますが、6月後半はまるで梅雨のような毎日でした。その時期の低温と雨の影響で、夏の蝶たちの出が今年は遅れ気味です。蝶の観察会をする7月17日までには、なんとか天気が回復してほしいものです。と書くと人間のわがままのようですが、自然は自然らしくあって欲しいです。(編集人: 皆川昌人)



公式サイト

「アカゲラ通信」第20号 2015(平成27)年7月1日発行
発行:(公財)札幌市公園緑化協会 旭山記念公園管理事務所
住所:〒064-0943 北海道札幌市中央区界川4丁目

連絡先: 電話 011-200-0311(金～月・祝日 10時～16時) FAX 011-200-0351

<http://www.sapporo-park.or.jp/asahiyama/>